

# 戦争と いうも の

監修 中野晴行



# 手塚治虫からの メッセージ **伝言**

## 戦争とくらもの



監修 中野晴行

## はじめに

手塚治虫は、遺作のひとつになつた『ガラスの地球を救え』というエッセイ集の中で、自分が戦争をテーマにしたマンガをいくつも描いている理由を「当時の状況を体験として、つぶさに知つてゐる人間は、若い人たち、子どもたちに“戦争”のほんとうの姿を語り伝えていかなくては、また再び、きな臭いことになりそうだ」という不安からだと書いています。そして、「女も子どもも無残にあっけなく殺されていつたのは、ついこの間の厳然たる事実なのです」とつづけています。

手塚が大阪府立北野中学（いまの府立北野高校）に入学した一九四一年の十二月八日、日本軍はハワイ真珠湾のアメリカ海軍基地への奇襲作戦をおこない、その後アメリカ合衆国やイギリスに宣戦布告して太平洋戦争に突入していきました。はじめのうちは、日本中が勝利にわきかえりました。でも、

まもなく、豊富な資源を持ち、軍事力でも日本よりはるかにまさつていたアメリカの反撃に苦しむようになりました。

若い男のひとが戦場に送られるようになり、武器にするためにお寺の鐘や銅像まで回収されました。食べるものもすくなくなり、野草の葉っぱや根っこも食卓にのぼつたのです。戦争が終わりに近づくと、アメリカの爆撃機が日本の都市や港を攻撃し、子どもや赤ん坊も犠牲になりました。家も焼かれ、多くのけが人がでした。一九四五年八月に広島と長崎に落とされた原子弹は、二十万人以上（広島市、長崎市の発表による）もの命をうばいました。原爆の放射線障害はいまだお被爆者を苦しめています。この本を読んで、手塚がみなさん伝えようとした戦争のほんとうのすがたを知つてください。

# 手塚治虫がらの伝言

## 戦争とひうもの

やり残しの家 —『ブラック・ジャック』より —  
7

てんてけマーチ 31

1985への出発 65

カノン 99

オクチンの奇怪な体験 —『ザ・クレーター』より —  
123

紙の砦 155

手塚治虫について／中野晴行  
196

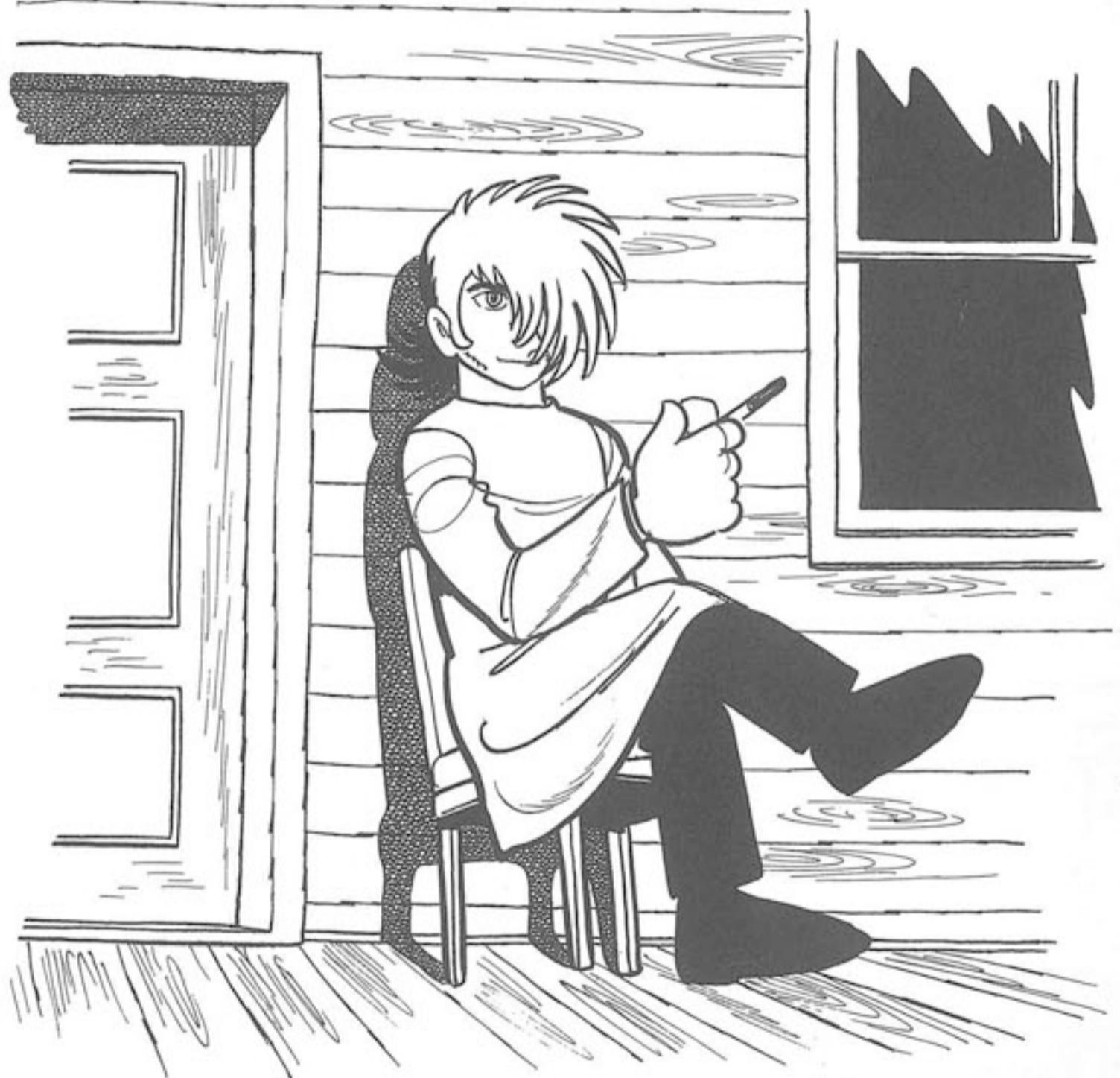
初出

やり残しの家 ……『週刊少年チャンピオン』1976年11月29日号  
「てんてけマーチ」……『月刊少年ジャンプ』1977年9月号  
「1985への出発」……『月刊少年ジャンプ』1985年7月号  
「カノン」……『漫画アクション』1974年8月8日号  
「オクチンの奇怪な体験」……『少年チャンピオン』1969年12月17日号  
「紙の砦」……『週刊少年キング』1974年9月30日号

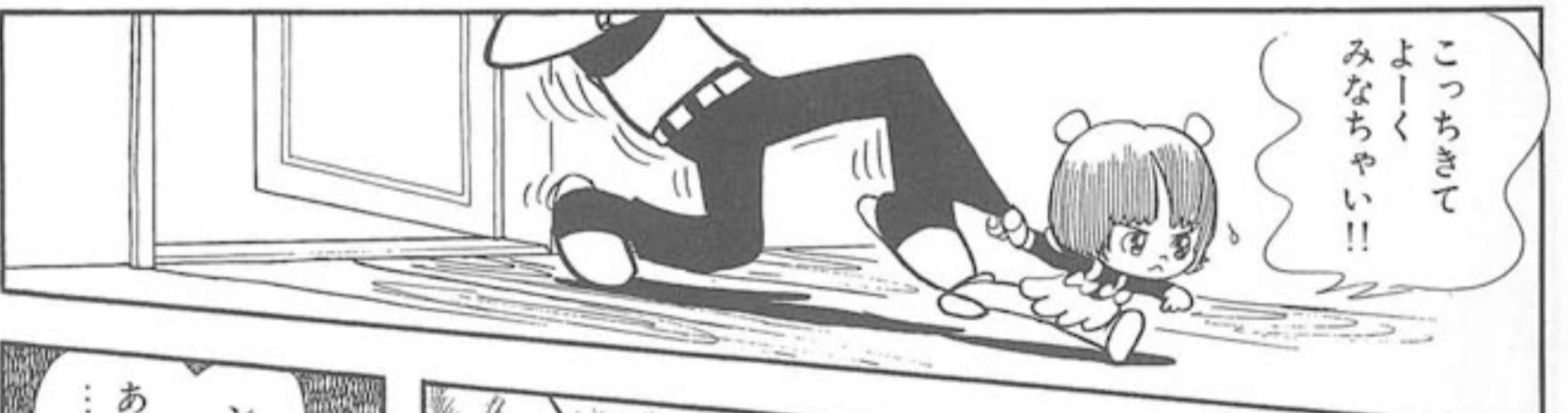
# BLACKJACK

## ブラックジャック

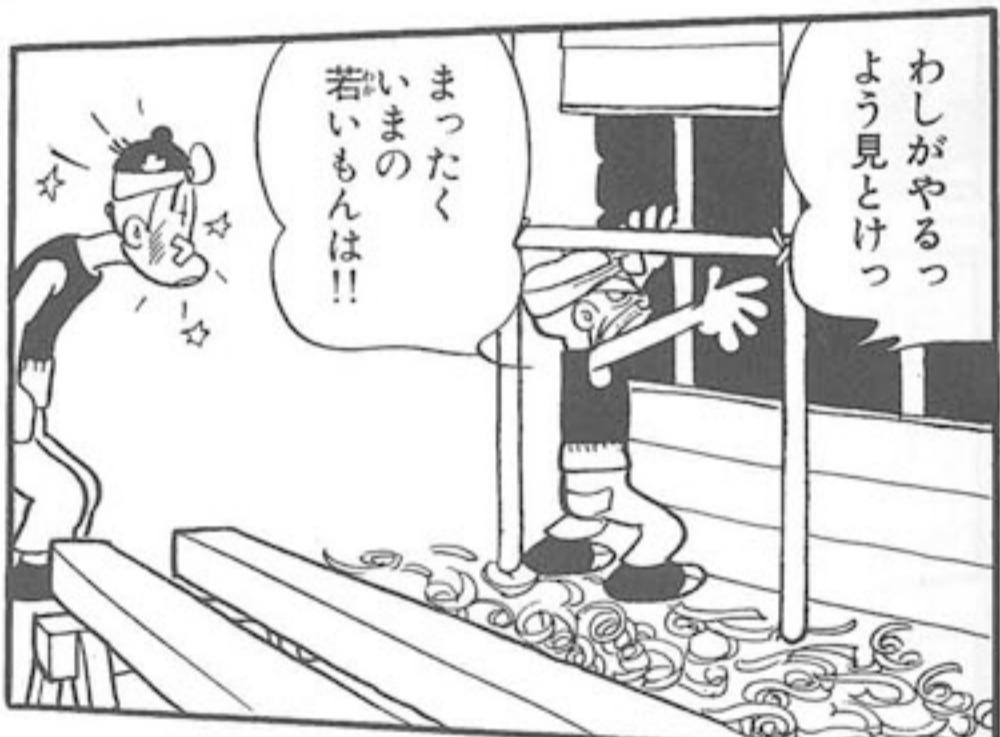
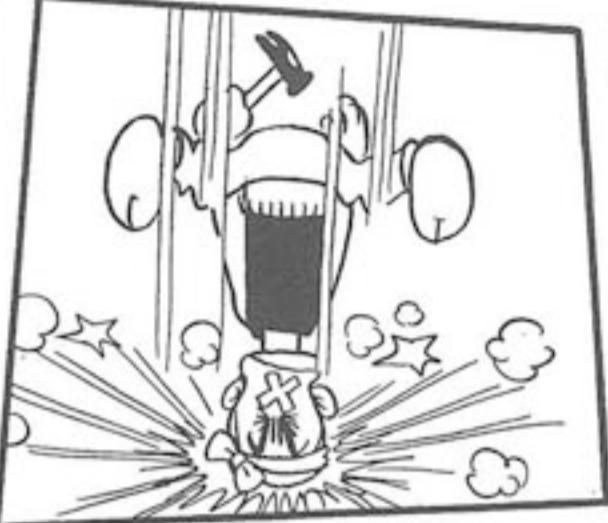
やり残しの家

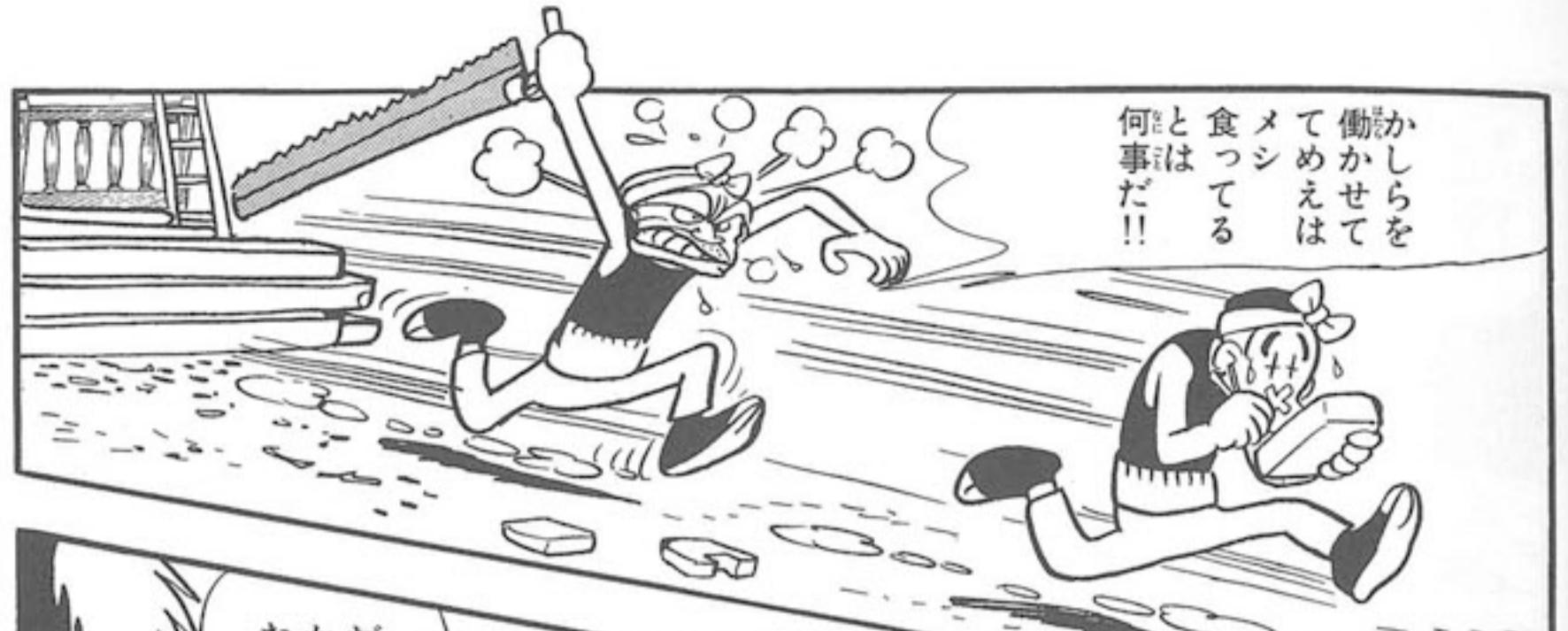


監修者プロフィール  
中野晴行（なかの・はるゆき）  
1954年生まれ。和歌山大学卒業。1993年に『手塚治虫と路地裏のマンガたち』（筑摩書房）で単行本デビュー。『マンガ産業論』（同）で日本出版学会賞奨励賞、日本児童文学学会奨励賞を受賞。『謎のマンガ家・酒井七馬伝』（同）で日本漫画家協会賞特別賞を受賞。京都精華大学マンガ学部客員教授。











9784494018529



1928979019801

ISBN978-4-494-01852-9

C8979

¥1980E

定価 本体 1,980 円（税別）

童心社



## 図書館用特別堅牢製本図書

この本の表紙には特別のフィルム加工  
がしてありますので汚損の心配がありません。